

阿蘇市の魅力ポイント

■面積 376 km² ■人口 約2.4万人 ■指定地域 振興山村、過疎地域

○活火山を間近で体感できる

阿蘇市は、世界最大級のカルデラを有する雄大な阿蘇の自然景観が魅力的です。

阿蘇山の中心部にある火口では、火山活動の状況によっては火口付近まで行くことができます。



○広大な草原

阿蘇市は野焼きによって維持されている広大な草原景観が魅力的です。阿蘇パノラマインでは、草原の中を車で走行することができ、放牧されている牛を見ることができます。人気のドライブルートの一つです。



○みちのえきにおける農産物直売

阿蘇地域では、道の駅の直売所において、地元で生産された新鮮な農産物が販売されています。



阿蘇市の課題

■ 政策分野 農業振興・観光ほか

農業

- 熊本地震で被災した市道狩尾幹線沿線の山腹復旧に向けた総合支援を要望。熊本地震で被災した市道を農道として再活用したいが、事業規模が100億円を超える見込み。
- 有害鳥獣による被害が増加傾向にあり、これは農林業者の高齢化や後継者不足、耕作放棄地や管理されない森林の増加等が背景にある。今後は、ジビエとしての活用も含めた有効な対応策を検討する必要がある。

観光

- 草原管理において、保安林では野焼きが許可されておらず、また、急傾斜地の保安林内部は管理が行き届かないことから、水源涵養や土砂災害防止の観点で危険が高まっている。阿蘇市には2万2千haに及ぶ草原が存在しており、作業の安全性向上・負担軽減、人手不足等の観点から、保安林の一部を草原に転換することも含めて検討が必要である。
- 観光地となっている特殊なガラス構造のバラドームは、建設から20年以上経過し、老朽化が進んでいるが修繕を引き受ける業者が見つからず、解体も選択肢の一つとして検討されている。一方で、隣接する指定管理者所有の施設も含め、施設一帯を道の駅として活用したいという要望がある。

応援隊の活動報告

【これまでの活動実績】

- 5月にオンラインで顔合わせを行い、6月に阿蘇市長、地域拠点担当も交えたオンライン会議を実施。阿蘇市の現状と課題を共有。
- 7月に1泊2日で阿蘇市を訪問。H28の熊本地震で被災した市道、観光の目玉でもある阿蘇の草原管理、有害鳥獣対策等の課題をはじめ、市内全域を視察するとともに、意見交換を実施。
- 11月にオンライン会議で改めて課題を整理した。それぞれが対応可能な事項を整理したうえで、取り組む内容を検討した。

【来年度の予定・方針】

- 1年目の検討を踏まえ、次年度以降の阿蘇市の課題を整理し、引き続き支援の要請があればサポートする。